

福田優子（神戸大学医学部附属病院 循環器内科）

受賞論文：Utility of right ventricular free wall speckle-tracking strain for evaluation of right ventricular performance in patients with pulmonary hypertension.

J Am Soc Echocardiogr 2011;24(10):1101-1108

神戸大学医学部附属病院 循環器内科 福田優子と申します。この度は、男女共同参画奨励賞を頂戴し、学会関係者の皆様、指導をして頂きました川合先生、田中先生、支援して頂きましたブラッシュアップセンターの皆様、エコーグループの皆様に大変感謝しております。

神戸大学では全学部において男女共同参画推進に取り組んでおり、平成19年2月に「男女共同参画推進室」が発足しました。神戸大学病院では同年11月に「D&Ns ブラッシュアップセンター」が院内に開設され、ライフイベントを経て仕事を継続する職員の支援をしています。開設当初は女性医師・看護師が対象でしたが、平成22年にコメディカル、事務職員へと対象が拡大しD&Ns plus ブラッシュアップセンターとなりました。さらに、介護休後や離職・退職した者も含めて、各々の現場への復帰を支援しています。センターでは、出産、育児、介護などの経験をキャリアアップととらえ、妊娠、育児、介護中の職員のブラッシュアップを図ることでスムーズな現場への復帰を支援しています。

私は平成21年12月に第1子を出産しましたが、診療科からの支援に加え、センターから産休・育休制度についての様々な情報提供を頂き、同年11月から平成22年9月まで産休・育休を取得、同年10月にセンターの育児短時間勤務制度を利用して復職しました。また平成24年11月に第2子を出産した際にも同様に支援を受け産休を取得、平成25年4月に再び短時間勤務制度を利用して復職しました。

受賞論文に関する心エコー図データの取得と解析は、第1子の産前休暇前に行い、出産後に corresponding author の田中先生と共に論文を完成させました。本論文は2011年6月に Journal of the American Society of Echocardiography にアクセプトされ、11月に掲載されました。

#### 【受賞論文要旨】

本論文では、肺高血圧症患者において二次元スペクトルトラッキング法を用いた非侵襲的な右室機能評価法に関する研究を行いました。右室自由壁ストレイン値は、右心カテーテルで測定された平均肺動脈圧・肺血管抵抗を予測する独立規定因子であることが示されました。右室自由壁ストレイン値は6分間歩行距離、心臓MRIによる右室収縮能・右室収縮末期容積と有意に相関し、非侵襲的な肺高血圧症患者の管理において有用であると考えられました。